

油彩画お取扱説明書

Oil Painting Instruction Manual, 2024

〈保存版〉



新里たける

Takeru Niizato

■油彩画について

油彩画には六百年以上もの歴史があり、その表現力は勿論のこと完成後の作品には深い味わいがあります。頑丈で反りの無い木枠に丈夫な麻布を張ってキャンバスを作り、下地に固着力の強いホワイトを数回に分けて塗布。描画面には耐候性に優れた顔料と画溶液を厳選して使用しています。

なお、額縁は熟練職人の手仕上げによるものです。※自作品もあり

後世に残る作品作りを心がけています。未永くご鑑賞頂ければ幸いです。

■展示方法

- ・**場所の確保**>希望した展示場所に収まらない、直射日光が当たる、損傷リスクがあるなど、設置困難な事例あり。事前に寸法や展示条件をよく確かめる。
- ・**展示位置**>目線の高さに設置。絵の中心が床上150cm目安。絵の上下に十分なスペースを確保。大型の絵(50号以上)でも床上50cm以上間を開ける。
- ・**額縁の紐**>ひばり結び(二重)でしっかり縛ってあるか確認。
- ・**保護板(ガラス板、アクリル板)**>損傷防止のため付けたまま展示。
- ・**フックに掛ける**>壁や柱の強度、内部配線を確認。絵の重量に見合った耐荷重の額縁用フック(国産メーカー推奨)をピン(1.6φ前後)で斜め上から打ち付け。壁への衝撃が気になる場合、下穴(1φ前後)を空ける。ネジ止めタイプもある。安全のため壁の古穴は再利用しない。フックは1枚の絵に対し1、2個。絵を水平に掛ける。
- ・**ワイヤーで吊る**>ピクチャーレールまたはフックに額縁用ワイヤー1、2本で吊るしバランスを取る。重量のある絵は下部を支えてもらいながら作業。
- ・**大型の絵**>太めのフック、ワイヤーを使用。額縁の下に補強用の木脚か専用額受けを取り付ける。保護板の無い絵は前方にロープパーテーションを設置検討。
- ・**スポットライト**>作品に対しライトを45°以内に設置することで見やすく雰囲気も良くなる。LEDランプは熱紫外線量が比較的少なく美術品の展示に適しているが、加熱、褪色防止のため距離を離し、不使用時は消灯。
- ・**盗難、地震対策**>安全な場所に展示。セーフティフックを使用。裏側にワイヤーロック取り付け。額紐とフックを針金で連結し代用することも可能。
- ・**題名プレート**>両面テープか細いピンで留める。

■展示に適さない場所

- ・直射日光が当たる、ライトが近過ぎる>紫外線と熱により褪色、変形、亀裂、火災発生の可能性。
- ・絵の正面に光源がある／窓向かい、照明器具前>額縁の保護板に光が反射し絵が観づらいため、絵か光源の位置を変更。窓にカーテン取り付け。
- ・湿気が多い、床に近い／倉庫、地下室、浴室付近、床など>湿気、ホコリなどによりカビやシミ発生の可能性。
- ・外気、冷暖房が当たる／ベランダ、玄関ドア、窓付近、エアコン前など>温湿度の変化によりキャンバスの収縮、描画面損傷のリスク。湿気、寒暖差、結露、ホコリなどによりカビやシミ発生の可能性。
- ・粉塵、油、煙、ガス、スプレー液が飛散している／工場、厨房、喫煙所など>汚染、劣化の可能性。
- ・虫や動物の進入がある>汚染、損傷の可能性。
- ・人や物が接触し易い／狭い通路、体育館など>損傷、怪我の可能性。

■運搬方法

- ・絵(額縁)の両側面から挟むようにして持つ。または下部を支えて紐を持つ。
- ・床に仮置きする場合は養生マットを敷く。足元での引っ掛けに注意。
- ・絵の横転、落下による描画面の剥離損傷、ガラス割れ、怪我に注意。
- ・絵の角打ちに注意し、焦らず一枚ずつ運ぶ。
- ・箱に入れるか護衛材(毛布、エアキャップ)に包んで運搬。
- ・雨天時、強風時、炎天下、氷点下での運搬は避ける。もしくは嚴重に梱包。
- ・車載時は絵が動かないよう嚴重に固定。平置きの場合はマットを敷き、描画面を上方に向ける。ガタ道での振動に注意。長距離の場合は箱を二重にする。
- ・積み下ろし時の盗難に注意。絵を放置しない。車や倉庫に忘れず鍵を掛ける。
- ・大型の絵を運搬する際は2人以上で作業を行う。超大型(150号以上)の場合は3人以上、箱(幌)トラック1t以上が必要。
- ・脚立は踏板が広く耐加重の高い安全なものを使う。

■メンテナンス

- ・**保護板(ガラス板、アクリル板)**を外して展示する場合、温湿度の変化による収縮が大きくなり描画面損傷のリスクが高まります。張り替え専用の保護ニス塗布する必要がありますので、必ずお問い合わせ下さい。ニスは3段階あり、作者在命中は加筆可能なニスで仕上げ、額縁に保護板を付けることが多いです。
- ・**ガラス板**は水やアルコールで濡らした布などで拭くことができます。都合によりキャンバスを外す場合は、まず手を洗い、描画面に触れないよう両側面を持ちます。外したキャンバスは直射日光、湿気、虫などを避けるため、箱に入れ安全な場所に保管。
- ・**アクリル板**はアルコール不可。水で濡らした柔らかい布で軽く拭いて下さい。ホコリはハタキかブロワーで除去。帯電防止液を使用する場合は絵や額縁に付かないよう厳重注意。板面の小傷はアクリルサンダー(研磨剤)である程度修復できます。
- ・**保護板の強化(高硬度、低反射、UVカット)**可能です。※別途料金が発生します。
- ・**複製画**はUVカットニスとアクリル板(UVカット率90%以上)を使用しています。
- ・**絵の修復やクリーニング(無料)**ご希望の際はお気軽にご相談下さい。必要に応じて描画面の清掃、保護ニスや艶調整ニスの塗布、釘の錆び止め加工、額縁のメンテナンスなどを行います。お預かり期間は絵の状態や気候によって異なります。

■現状と評価額

- ・**油彩画の特注**は現在停止中です。大変混み合っており、絵の制作には長い時間がかかるため、納品の遅延、個展の延期となる恐れがあるからです。
- ・**評価額**は市場の変化や画廊の意向、技術向上に伴い変動します。また作者死後急激に高騰する場合がございます。保険が必要な際の情報開示は下記住所にお問い合わせ下さい。※販売価格は評価額と異なります。

■お問い合わせ

〒843-0002 佐賀県武雄市朝日町中野7992 アトリエ・喫茶 山閑人

Tel/Fax:0954-26-2877

Email:info.takeruniizato@gmail.com

ホームページ:www.takeruniizato.com

